

人権学習プログラム集の活用にあたって

- 1つの人権学習プログラムは、「話の素材(学習資料)」「学習のポイント」「すすめ方」「資料」の4つの内容で構成しています。
- 人権学習プログラムの特色や利用の仕方について、例を挙げて説明していますので参考にしてください。

話の素材(学習資料)

日常生活の中から、みなさんが体験したことのあるような身近な場面を取り上げ、「話の素材」としました。

参加者の方に、自分の体験やエピソードを交えながら、自由に話し合っていたいただくことを目的としたものです。互いの思いをしっかりと出し合います。

学習のポイント

何故、多くのビジネスマンやセールスマンは、真夏でもネクタイ・スーツを着用するのでしょうか。真夏には半袖シャツにノーネクタイの方が機動的であり業務効率もアップするはずなのですが、「顧客の信頼を得るためにはネクタイ・スーツ着用は欠かせない。」と考えるのが一般的のようです。

人は「身につけている衣類・装飾品」のほか、「家柄・家業」「学歴」「勤務先・肩書き」「住宅、自動車等の財産」など本質(内面)でない要素で他人を評価し、「格差づけ」「見下し」してしまうことがあります。

そのことにより、時として、無意識のうちに他人を傷つけたり、不快な思いをさせたり、また、偏見や人権侵害につながったりもします。私たちみんなが、そのようなことがないように常に留意しておく必要があります。

ここでは、猫を飼っている家庭での何気ない発言や、子どもの結婚相手に望むことを考えることを通じて、本質(内面)でない要素で評価することについて気づき、また、江口いとさんの「人の値うち」を参考にしながら人権について考えます。

ファシリテーター(学習促進者)が学習の参考にしたり、学習の初めに「学習のねらい」を説明したりするときに使います。また、学習の最後に「まとめ」としても活用することができます。(特に大切にしたい視点を赤字で表しています)

9 猫の世界

話の素材(学習資料)



学習のポイント

この学習プログラムのねらいや、話し合いのポイント等をまとめて記述しています。

人権研修会の案内を作成する際にも活用いただけます。



おすすめ方 [90分]

目安となる「学習時間」及び主な「準備品」を挙げています。

- 4～5人のグループをつくります。
- 「話の素材」を配り、グループで空白のセリフを話し合います。
→男性のセリフに対して肯定的な立場と否定的な立場の両方のセリフが予想されます。正解はありません。セリフを出し合い、グループで話し合います。
- 自分の子どもが結婚を考える年齢に達したと想定して、親として、どのような相手がふさわしいと思うかグループで話し合います。
まず、用意した16項目から個人で上位5位までランキング。次にグループで話し合い、3位までランキングを作成します。(「資料1 子どもの結婚相手に望む条件ランキング」に記入する。)
→グループで作成したランキングと「資料2 結婚相手の条件」とを照らし合わせて、大人が考える条件とのギャップについて確認する。
大人においては、「性格・パーソナリティ」や「価値観・相性」等の本質(内面)の要素が重視され、「学歴」「持ち家」「財産・貯蓄額」等の要素は重視されていないことを理解する。
- グループごとに話し合いの中で出た意見や気づいた点について代表者が発表します。
→「話の素材」の男性の発言は、猫の本質(内面)に基づいていないことに気づく。
- ファシリテーターが「資料3 (人の直うち)」を朗読し、グループの発表や学習のポイントを織り交ぜながら、感想を言って終わります。

おすすめ方
 大まかな「学習のすすめ方」を記述しています。研修の時間や参加人数、会場などに応じて、それぞれ工夫して細かな「すすめ方」を考えていただくときの参考としてください。

「話の素材」を使った話し合いの前に、アイスブレイキングの時間を設けて、参加者の心をしっかりほぐしましょう。

話し合いの意図を記述しているところもあります。

資料

教材として参加者に配布したり、ファシリテーター(学習促進者)が参考資料として活用したりするためのものです。学習を深めたいときや時間に余裕があるときなどに、追加資料としても活用できます。

学習プログラムによっては、別版の「話の素材」を載せているものもあります。学習者の実態に応じて活用してください。



資料1 子どもの結婚相手に望む条件ランキング

1 あなたのお子さんが結婚するとした場合、結婚相手に望む条件として大切だと思うものを次の中から1位から5位までランキングしていきましょう。

記号	条 件	ランキング
A	性格・パーソナリティ	
B	価値観・子どもの相性	
C	収入・経済力	
D	容姿・容貌	
E	子どもの仕事に対する理解と協力	
F	二人の共通の趣味	
G	家事・育児に対する能力・姿勢	
H	二人の対等意識	
I	年齢	
J	センス	
K	職業	
L	自分たち親との同居	
M	相手(女)の親との別居	
N	学歴	
O	持ち家	
P	財産・貯蓄額	

2 グループで話し合ってベスト3を決めましょう。

1位 2位 3位

1位に選んだ理由は

資料の中に、ワークシートを載せているものもあります。そのまま活用することもできます。

資料2 結婚相手の条件 (『少子化に関する意識調査研究報告書(H16.3厚生労働省)』より)

- 若年独身男性 …… 20歳～32歳 独身
- 継続独身男性 …… 33歳～49歳 独身
- 若年無子家族男性 …… 20歳～49歳 既婚 子ども無し 妻が20歳～31歳
- 若年独身女性 …… 20歳～30歳 独身
- 継続独身女性 …… 31歳～49歳 独身
- 若年無子家族女性 …… 20歳～31歳 既婚 子ども無し 夫の年齢不問

図表2-5. 結婚相手の条件(回答3つまで)(基数・全体)

